

- 周術期外来のご紹介
- がん遺伝子パネル検査（保険診療）を開始
- 患者満足度調査の結果について
- クリスマスイルミネーションを展示しました
- 小児がん支援型自動販売機を設置しました

周術期外来のご紹介

患者支援センター



「周術期」とは、患者さんの手術中だけではなく、入院から、麻酔・手術・回復に至る手術の前後を含めた一連の期間を指します。さらに、「周術」には、手術に必要な3つの段階、術前・術中・術後も含まれます。

患者さんやそのご家族にとって『安心・安全な周術期環境』を提供できるよう、関係する職種からなる周術期管理チームが、各職種の専門性を活かしてサポートします。

今回は、周術期外来の内容やチームを構成する職種とその役割をご紹介します。

1. 周術期外来とは

手術目的で入院を予定されている患者さんに対して、入院されるまでの外来期間中に、それぞれの医療職が聞き取りやサポートをします。あらかじめ確認することで、手術におけるリスクが軽減され、より『安心・安全な周術期環境』が提供できるようになります。

2. 周術期管理チームを構成する職種

1) 外科医

手術や治療方針を決めます。

2) 麻酔科医

手術中の麻酔と全身の管理をします。手術後の痛みのコントロールもします。

3) 看護師

手術への意思決定支援、不安に対するご相談、全身状態の確認、手術室での過ごし方に関する説明などを行います。

4) 歯科口腔外科医・歯科衛生士

手術の合併症予防として、歯や歯茎の治療、お口のケアを行います。また、手術のときに歯を守る方法を一緒に考えます。

5) 薬剤師

普段服用されている薬や健康食品・サプリメントの確認や、必要な説明をします。

6) 管理栄養士

手術前から手術後にわたって、栄養状態をチェックし、栄養サポートを行います。

7) 理学療法士・言語聴覚士

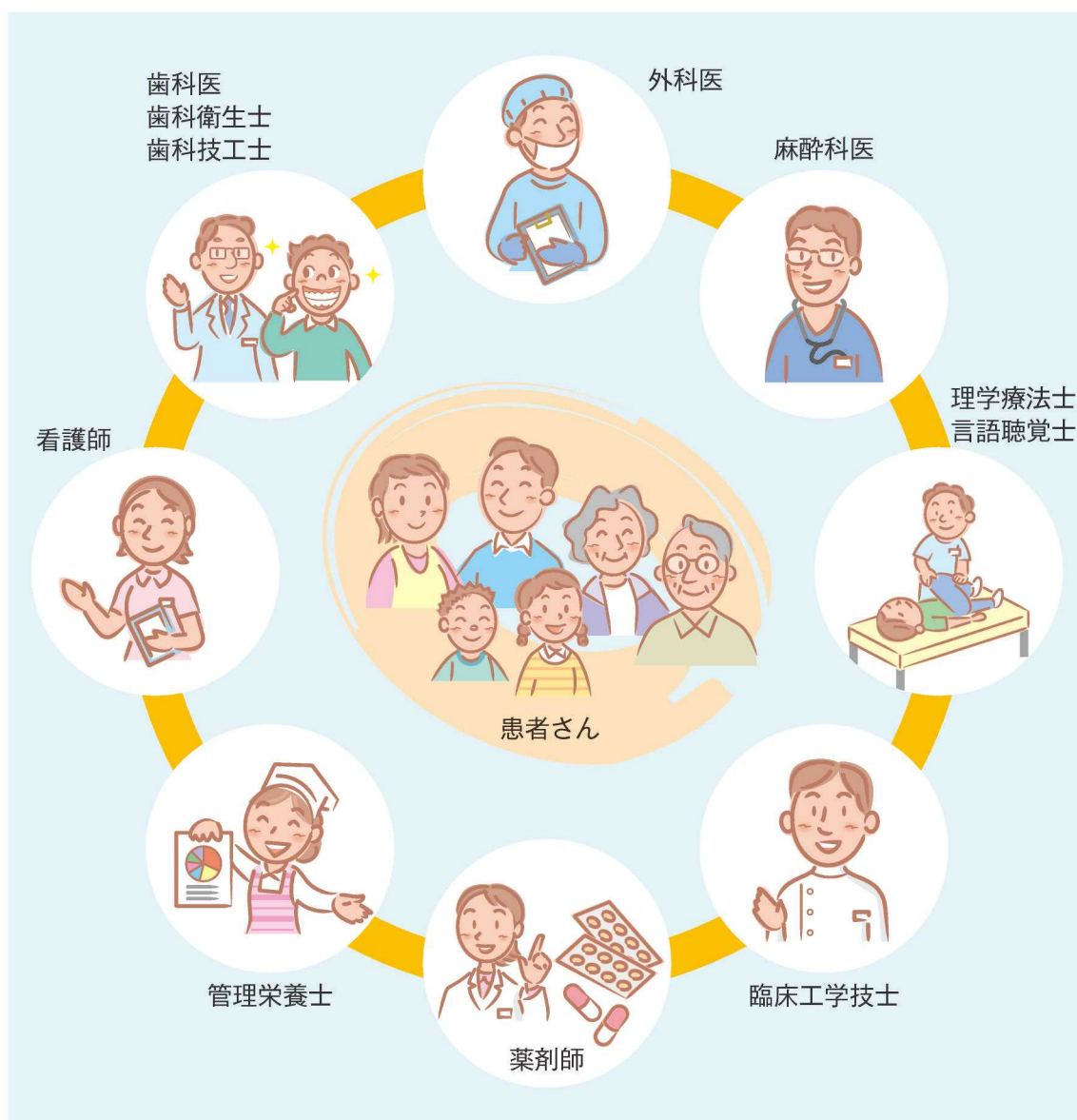
手術前の運動と生活指導、手術後には機能回復をサポートします。

8) 臨床工学技士

手術に関わる機器管理全般を行います。



周術期外来は、多職種から構成されています



3. 周術期外来のメリット

- 手術までに多職種が関わることで、いろいろな場面での様々な疑問や不安にお答えすることができます。
- 手術までに十分な説明と、専門性の高い情報を提供することができます。
- 外来期間中に多職種でサポートするので、よりよい状態で入院・手術が可能となります。

4. 患者さんにお願ひ

安全な手術を行う前の準備として外来診察や検査等があるため、入院までに複数回のご来院をお願いしております。

ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

がん遺伝子パネル検査(保険診療)を開始

腫瘍内科・腫瘍センター



がん遺伝子パネル検査は、手術などで採取したがん組織を使用して、がん細胞の性質に関連する100種類以上の遺伝子の変化を調べる検査です。この検査によって、患者さんのがんにあった治療薬の情報が得られますが、役に立つ情報が得られる患者さんの割合は約10%です。検査を受けられるのは、標準治療の効果がなく、次の治療を探している患者さん（希少がんや小児がんの場合は例外あり）です。検査結果が出るまでは、検査に出してから1か月半～2か月かかります。当該検査につきましては、保険適用となっております。詳しくは、主治医、または当院のがん相談窓口（がんゲノム医療コーディネーター：077-548-2859）まで、お問い合わせ下さい。

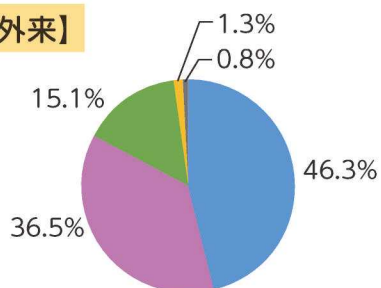
検査結果が出るまでは、検査に出してから1か月半～2か月かかります。当該検査につきましては、保険適用となっております。詳しくは、主治医、または当院のがん相談窓口（がんゲノム医療コーディネーター：077-548-2859）まで、お問い合わせ下さい。

患者満足度調査の結果について

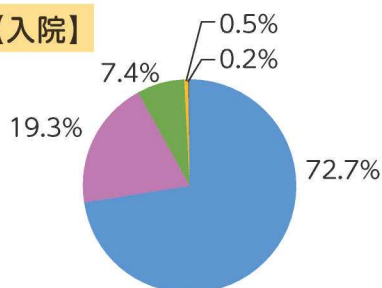
患者サービス向上委員会

当院を親しい方にもすすめようと思いますか

【外来】



【入院】



■すすめる ■まあまあすすめる ■どちらともいえない ■あまりすすめない ■すすめない

令和元年7月25日(木)に外来患者さん、7月1日(月)～31日(水)に入院患者さんを対象に、患者満足度調査を実施しましたので、その結果をご報告します。

皆さんからいただきましたご指摘、感謝のお言葉、当院に対するたくさんのご意見をもとに、信頼・安心・満足していただける病院を目指し、今後も医療の提供、サービスの向上に努めてまいります。

多くの患者さんにご協力をいただき、誠にありがとうございました。



クリスマスイルミネーションを展示しました

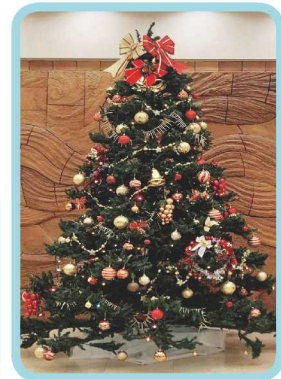
看護部



毎年たくさんの方からご好評をいただいております、当院のクリスマスイルミネーションを、病院・大学職員が力を合わせて展示しました。

今年は、入院中の患者さんにも気軽に楽しんでいただけるように、「D病棟ライトコート（光庭）」にも設けました。

正面玄関の陶壁前には、大きなクリスマスツリーを置くなど、院内各所を彩り、11月29日～12月25日の間、多くの方にご覧いただきました。



小児がん支援型自動販売機を設置しました

小児科

附属病院5階、5D病棟デイコーナーに小児がん支援型自動販売機を設置しました。売上げの一部が小児がんの治療・研究に役立てられるもので、デザインも親しみやすいものとなっています。

日本での小児がんの発生は年間2500例前後と考えられます。がんの種類が多い一方、専門家が少ないという課題を抱えています。

自動販売機の設置が、小児がんの啓発につながれば幸いです。



滋賀医科大学医学部附属病院 理念

「信頼と満足を追求する『全人的医療』」

滋賀医大病院ニュース第58号

編集・発行：滋賀医科大学広報委員会

〒520-2192 大津市瀬田月輪町

TEL：077(548)2012(総務企画課)

過去の滋賀医大病院ニュース(PDF版)はホームページでご覧いただけます。



●理念を実現するための 基本方針

- 患者さんと共に歩む医療を実践します
- 信頼・安心・満足を提供する病院を目指します
- あたたかい心で質の高い医療を提供します
- 地域に密着した大学病院を目指します
- 先進的で高度な医療を推進します
- グローバルな視点を持ち、人間性豊かで優れた医療人を育成します
- 将来にわたって質の高い医療を提供するため、健全な病院経営を目指します